

契約業務における実態調査を実施

**契約業務に課題を感じているビジネスパーソンは8割以上
法務部以外も約4人に1人が月10時間以上の契約業務に従事
～業務改善で希望するのは、「効率化・経費削減・コンプラ意識向上」～**

企業の契約に関わる業務全般を最適化する、国内初の契約マネジメントシステム「ホームズクラウド」を運営する株式会社Holmes（本社：東京都千代田区、代表取締役：笹原 健太、以下：ホームズ）は、この度、一般企業の20歳～59歳の会社員1,102名を対象に、「契約業務に関する実態調査」を実施しました。

ITRが2019年6月に発表した調査（※1）によると、国内の電子契約市場は2022年度には117億と現状の倍以上の規模に成長することが予想されています。また、契約業務をフローや関係書類も含めたライフサイクルで管理する「契約マネジメント」の市場についても、2024年度には、現状の2倍の207億円規模の成長が期待されます。（※2）

この度の調査は、日本における契約業務に関する企業課題を浮き彫りにすることを目的に、過去一年間に契約業務に携わった経験のあるビジネスパーソンを対象に実施しました。調査の結果、契約業務周りで空費している時間（承認待ち時間・契約書の検索時間など）の実態が明らかになりました。調査の結果のハイライトは、以下の通りです。

※1： ITR 国内の電子契約サービス市場規模推移および予測発表 (<https://www.itr.co.jp/company/press/190618PR.html>)

※2： 「リーガルテックの潮流と契約マネジメント」 (<https://www2.holmes-cloud.com/l/456492/2019-12-11/8cy1k4>)

調査ハイライト

1. ビジネスパーソンの8割以上は、現状の契約業務に課題感を感じている

- 過去1年間に契約業務に携わった経験のある人のうち、「契約業務に課題を感じている」と回答した人の職種内訳は、営業・販売部門58.0%、情報システム部門28.9%、経営企画部門10.6%。法務部門以外のビジネス部門の多くでも、現状の契約業務に課題があると回答。

2. 契約業務課題のTOP3は、「承認待ち時間」、「過去の契約が見つからない」、「承認フローが不明確」

- 課題第1位は、「社内外の承認に待ち時間がかかる（44.5%）」。次いで、「過去の契約書が見つからない（32.7%）」「社内承認フローが不明・煩雑（31.2%）」。（※複数回答）

3. 契約業務にかかわる部署は「営業・販売」、「情報システム」、「経営企画」 法務部以外でも約4人に1人が契約業務に月10時間以上かけている

- 法務部以外の社員1人が契約業務にかける時間について、26.6%が10時間以上、62.5%が月に5時間以上と回答。

4. 契約業務で改善したいことのTOP3は、「契約業務の効率化（66.9%）」、「 契約管理の最適化（37.0%）」、「無駄な支出を減らす（34.3%）」

- そのほか、「コンプライアンスの向上（32.3%）」、「売上向上（31.1%）」などの回答が上位を占めました。（※複数回答）

5. 契約業務サービスで導入意向が最も高いのは「社内ワークフローシステム」 次いで、「電子契約」と「契約書管理システム」のニーズが高い結果に

- 契約業務改善のための導入希望サービスTOP3は、「社内のワークフローシステム（35.6%）」、「契約書の電子契約化（33.8%）」、「契約書の管理システム（32.0%）」。（※複数回答）

【調査概要】

調査時期：2019年12月9日（月）～11日（水）

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国、20～59歳、男女1,102名

URL：調査データやインフォグラフィックは、下記よりダウンロードいただけます。

<https://www.holmescloud.com/news/press-release/1985/>

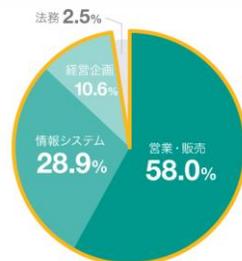
【契約業務に関する実態調査 | 調査結果詳細】

1. ビジネスパーソンの8割以上は、現状の契約業務に課題感を感じている

過去1年間に契約業務に携わった経験のある人のうち、「契約業務に課題を感じている」と回答した人の職種内訳は、営業・販売部門58.0%、情報システム部門28.9%、経営企画部門10.6%。法務部のみならず、多岐にわたる部署で契約業務が発生し、現状の契約業務に課題を感じていることがわかりました。

ビジネスパーソンの8割以上が「契約業務」に課題感

(単一回答 / n=1102)



「契約業務に課題を感じている」と回答した人の職種内訳

Holmes ※2019年12月実施の自社調査結果より

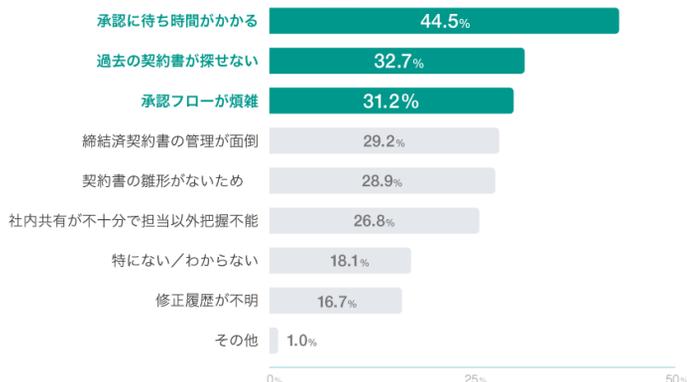
2020 © Holmes, Inc.

2. 契約業務課題のTOP3は、「承認待ち時間」、「過去の契約が見つからない」、「承認フローが不明確」

課題第1位は、「社内外の承認に待ち時間がかかる（44.5%）」。次いで、「過去の契約書が見つからない（32.7%）」「社内承認フローが不明・煩雑（31.2%）」（※複数回答）という結果となり、多くのビジネスパーソンが契約業務に関わる“非効率な時間”に課題を感じているということがわかりました。

Q1. 「契約業務」を行なう際に感じている課題は？

(複数回答 / n=1102)



Holmes ※2019年12月実施の自社調査結果より

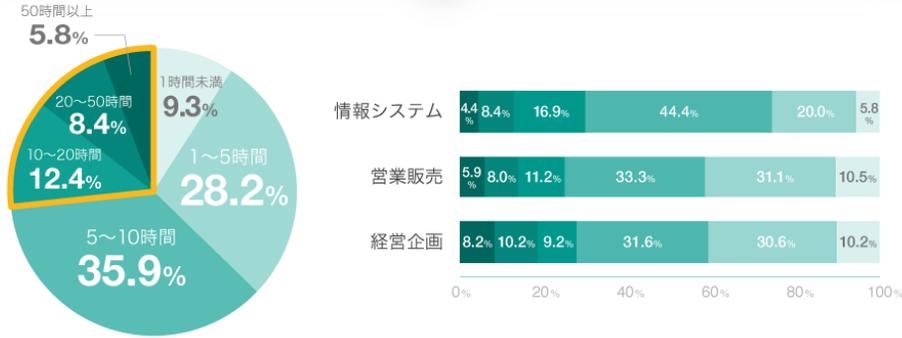
2020 © Holmes, Inc.

3. 契約業務にかかわる部署は「営業・販売」、「情報システム」、「経営企画」 法務部以外でも約4人に1人が契約業務に月10時間以上かけている

法務部以外の社員1人が契約業務にかける時間について、26.6%が10時間以上、62.5%が月に5時間以上と回答。法務部以外の人も、契約業務に一定の時間を取られている実情が明らかになりました。

Q2. 月間の「契約業務」にかかっている時間数は？

(単一回答 / n=896 ※法務部・未回答者を除いた896名)



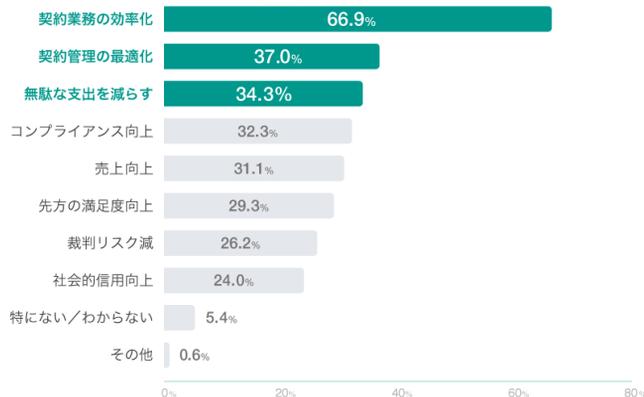
■ 1時間未満/月 ■ 1~5時間未満/月 ■ 5~10時間未満/月
■ 10~20時間未満/月 ■ 20~50時間未満/月 ■ 50時間以上/月

4. 契約業務で改善したいことのTOP3は、「契約業務の効率化（66.9%）」、 「契約管理の最適化(37.0%)」、「無駄な支出を減らす（34.3%）」

そのほか、「コンプライアンスの向上（32.3%）」、「売上向上（31.1%）」などの回答が上位を占める結果となり（※複数回答）、契約業務を改善するにあたり、効率化に加え、コストやコンプライアンスリスクへの対応ニーズも高いことがわかりました。

Q3. 「契約業務」の改善で実現したい効果は？

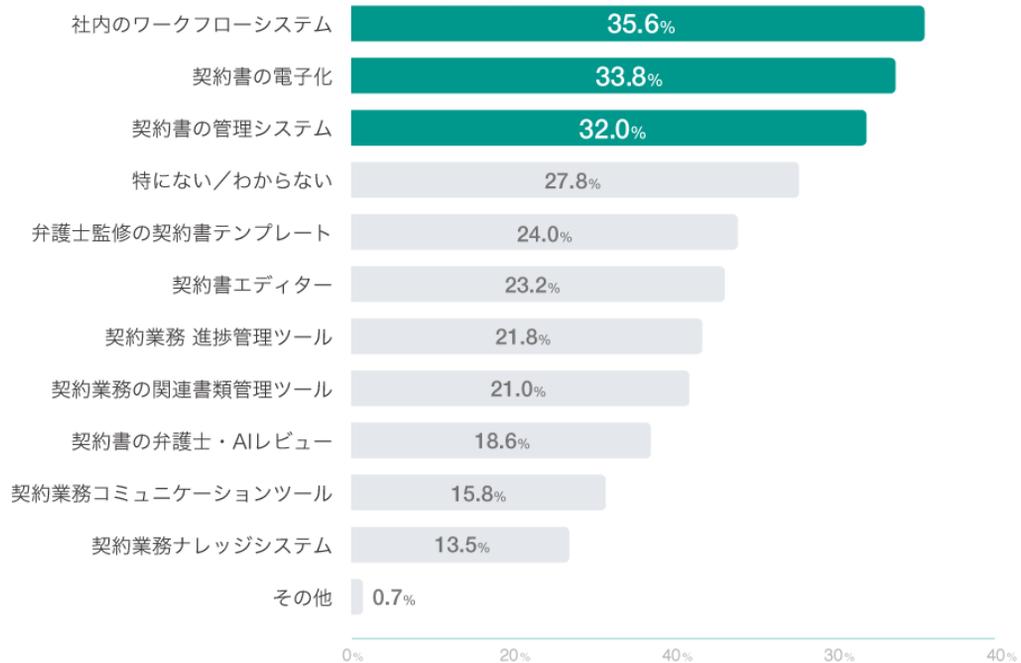
(複数回答 / n=903 ※未回答者を除いた903名)



5. 契約業務サービスで導入意向が最も高いのは「社内ワークフローシステム」 次いで、「電子契約」と「契約書管理システム」のニーズが高い結果に

契約業務改善のための導入希望サービスTOP3は、「社内のワークフローシステム（35.6%）」、「契約書の電子契約化（33.8%）」、「契約書の管理システム（32.0%）」（※複数回答）と、契約書の電子化のみならず、契約全体を管理するフローやシステムへの需要が高いことがわかりました。

Q4. 「契約業務」に導入している/したいものは？ (複数回答 / n=1102)



■ 契約マネジメントシステム「ホームズクラウド」とは

「ホームズクラウド」は、企業の契約に関わる業務全般を最適化する、国内初の契約マネジメントシステムです。契約書の作成・承認・締結・管理のみならず、複数の契約から構成されるプロジェクト全体の進捗管理も含めた契約業務全体のマネジメントを通して、事業をドライブします。

今後とも、ホームズは事業をドライブする「契約マネジメント」を元に、企業として更なる成長を目指してまいります。

【株式会社Holmesについて】

会社名：株式会社Holmes 代表者：代表取締役 笹原 健太

所在地：東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル6階 Inspired Lab内

事業内容：契約マネジメントシステム「ホームズクラウド」の提供

URL：<https://www.holmescloud.com/>